

【日本上陸 20 周年】キッザニア、公式 note を開設 100 社を超えるパートナー企業とつながる 「共創プラットフォーム」へ

公式ニュースでは伝えきれない体験の背景や現場のストーリーを可視化

こどもの職業・社会体験施設「キッザニア」の企画・運営を行う KCJ GROUP 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：圓谷 道成、以下 KCJ GROUP）は、2026 年 10 月に日本上陸 20 周年を迎えるにあたり、メディアプラットフォーム「note（ノート）」にて公式アカウント「キッザニア ジャパン広報 note」（以下、本アカウント：<https://note.kidzania.jp/>）を開設し、2026 年 9 月 30 日（水）より運用を開始いたしました。



■「キッザニア ジャパン広報 note」開設の背景と目的

2006 年 10 月の「キッザニア東京」開業以来、キッザニアは「エデュテインメント」をコンセプトに、こども達の生きる力を育むべく、さまざまな職業・社会体験の機会を提供してまいりました。20 周年の節目を迎えるにあたり、KCJ GROUP が掲げる企業パーパス「すべてのこども達に最高のエデュテインメント体験を提供し、豊かな未来社会の発展に貢献する」のもと、これまでの取り組みを次のステージへと進化させるべく、本アカウントを開設いたしました。

従来のプレスリリースをはじめとする公式情報だけでは、体験プログラムに込められた工夫や情熱、キッザニア施設内や施設外での取り組み（※ 1）を通じて生まれるこども達との心温まるストーリーを網羅しきれない側面がありました。本アカウントでは、その背景にあるさまざまなドラマを丁寧に言語化し、社会に価値ある情報として発信してまいります。

※ 1：「Out of KidZania」（キッザニアの街を飛び出して実社会の仕事を体験するプログラム、https://www.kidzania.jp/outof_info/）や、「コスモポリタンキャンパス」（中高生向けワークショップ）など

■「共創プラットフォーム」として

働き方の多様化や予測困難な時代において、こども達の「キャリア教育」や「生きる力」の育成への関心が高まっています。KCJ GROUP は、本アカウントを通じてともに歩んでくださるパートナー企業さまや自治体・各種団体の皆さまの想いや取り組み、現場でこども達を見守るスタッフ（スーパーバイザー）の視点など、「体験の舞台裏にあるストーリー」を紹介し、キッズニアを起点として多様なステークホルダーの枠を越えた新たな共創や価値が生まれる「共創プラットフォーム」を目指してまいります。

■配信コンテンツ（予定）

【共創ストーリー】さまざまな「想い」をつなぐストーリー

- ・さまざまな体験プログラム誕生の背景
- ・パートナー企業さまや地域・団体の垣根を越えた対談

【現場のリアル】こども達の「できた！」を支える人たちのストーリー

- ・こども達の成長を一番近くでサポートするスタッフ（スーパーバイザー）の想い

【次世代教育・CSR】学びと成長の機会を広げるストーリー

- ・キッズニア日本上陸 20 周年記念プロジェクトを通じたこども達の夢応援企画（※ 2）
- ・教育調査データ（「キッズニア白書」など）

※ 2：「キッズニア 20th プロジェクト」 <https://www.kidzania.jp/tokyo/20th>

■創刊記事のご案内

本アカウント開設の背景や、パートナー企業さまや多様なステークホルダーとともに目指すビジョンをまとめた記事を公開いたしました。

記事タイトル：【創刊】100 社と紡ぐ、こどもの未来。キッズニア広報 note はじめます。

<https://note.kidzania.jp/>



■KCJ GROUP／キッズニア ジャパン について

<https://www.kidzania.jp/>